

自治体消防60周年記念第21回全国消防操法大会 三種町消防団が健闘し、8位入賞

第二十一回全国消防操法大会は、平成二十年十月十二日(日)に東京都江東区東京ビッグサイトで全国から四十七消防団が出場して開催された。開会に際し、本大会の会長である片山日本消防協会会長が、「第二十一回全国消防操法大会は、自治体消防六十周年記念事業として開催した。消防操法はもとより、全国消防団員との交流や一般国民の皆様の消防団認知の機会として効果があがるよう期待したい。」とあいさつ。

午前十時からポンプ車操法の部、小型ポンプ操法の部の競技が同時に開始され、本県代表の三種町消防団は小型ポンプ操法の部でトップに登場し、新堀一利指揮者・信太賢一1番員・遠藤勝昭2番員・新堀慎3番員の四名が出場。日ごろの訓練の成果をいかに発揮して、士気・規律、迅速な行動、チームワーク、確実な動作など各審査部門で高得点し、タイム四四・四〇秒、得点八十四点で見事八位に入賞して優良賞を獲得した。

惜しまれるのは、タイム。県大会で出した四十一秒程度であれば優勝争いできたとの多くの声があった。しかし、これが全国大会であり、プレッシャーの中の健闘は立派。

会場には、地元から駆けつけた佐藤町長や消防団幹部、隊員の家族、研修で上京した由利本荘市鳥海支団十五名など総勢五十名の応援団が隊員の健闘を讃えた。輝く全国優勝はポンプ車操法の部は、総得点一九〇点で岡山県和気町消防団が、小型ポンプの部は、得点九十二点で福岡県の福岡市西消防団が獲得した。

大会前日の十一日夕刻には東京ビッグサイト「レレクションホール」において、大会出場選手約一千名と、多忙の中駆け付けた麻生太郎内閣総理大臣や大沢啓二さん・水前寺清子さん・菅原文太さん・田中邦衛さんらの芸能界・スポーツ界の消防応援団の皆さんとの激励交流会がにぎやかに行われた。

また、地域の総合的な防災力の向上が課題となつてることから、消防団・婦人防



題 字
初代会長 松野盛吉
定 価 1部 5円
(購読料は年会費を含む)
発行人
〒010-0951
秋田市山王四丁目1番2号
秋田地方総合庁舎内
秋田県消防協会
会長 中泉松之助
電話 018-867-7320
FAX 018-863-5910
E-mail:ask@biscuit.ocn.ne.jp

印 刷
〒010-0951
秋田市山王7丁目5-29
株式会社 松原印刷社
電話 018-862-8760



会長あいさつ

火クラブ等の活動PR、消防機器の紹介、各県の物産販売などの地域総合防災力展も開催された。

なお、平成二十二年度に開催される第二十二回大会は、現在愛知県が平成二十二



選手宣誓

十一月九日・十日の両日、愛知県蒲郡市での開催の立候補をしており、明年二月の日消防員会で正式決定される。

平成二十年度全国統一防火標語
『火のしまつ 君がしなくて 誰がする』



三種町の操法



地元からの応援団



地域総合防災力展セレモニー



多機能型車両によるデモンストレーション

株式会社 タカギ

秋田県横手市寿町1番28号
TEL (0182) (32) 3880

(営業種目)

日本機械自動車ポンプ	キンパイホース
トーチポンプ	シバウラポンプ
各種消防機械器具	各種消火器
消防設備保守点検	

ホームページ <http://www.17.ocn.ne.jp/~takagi/>
E-mail ykttkg@jasmine.ocn.ne.jp

森田ポンプ	ラビットポンプ
桜ホース・ソフト吸管	消防被服一式
各種消火器	消防機器一式

株式会社 協立 株式会社 能代消防センター

〒016-0846 能代市栄町12の3
TEL (0185) (52) 6361
(52) 6494

緊急消防援助隊

北海道東北ブロック合同訓練

大仙市で開催

平成二十年度緊急消防援助隊北海道東北ブロック合同訓練が十月十五日、十六日の両日、大仙市大曲「雄物川大曲河川運動公園」において、震度六強の直下型地震が発生したと想定し、八道県から消防隊員ら七〇〇名が参加して実施された。

この訓練は、大規模災害活動時の緊急消防援助隊の技術・連携活動能力の向上を目的に、都道府県及び市町村の協力で消防庁が主催して平成八年度から全国六ブロックで毎年実施している。

一日目の十月十五日は、災害発生直後の対応訓練として緊急消防援助隊の要請から受諾に至る一連の情報連絡を災害時に使用する通信機器で実施したほか、出動要請を受けた各都道府県の緊急消防援助隊が迅速に被災地に到着するための効果的な出動についての参集訓練、各隊が保有する大型テント等に宿営し、隊員の食・住を確保する野営訓練等を実施した。

二日目の十月十六日は、消防庁へりを活用した情報収集及びその伝達体制の検証、緊急消防援助隊活動のため東京都など大都市の五消防本部で使用しているウォーターカッター車、大型ブローアー車を活用した高度な部隊運用訓練が行われた。

このブロック訓練により、何時発生するか分からない各種災害の迅速かつ確な対応、各都道府県より緊密な連携が図られたものと思われる。来年度は山形県で開催の予定である。

※緊急消防援助隊

一九九五年の阪神大震災以降、消防庁の呼びかけに応じて全国の消防本部が編成。
被災地だけで対応できない大規模災害時に各都道府県が連携を取り合って救助活動を展開している。



野 営 訓 練



部 隊 運 用 訓 練



初めての全県消防団長研修会に 多数の参加を

消防協会の本年度の新規事業である全県消防団長研修会が、12月2日(火)次により開催します。全県の消防団長、消防長、消防関係者には後ほどご案内いたしますが、是非多数の参加をお願いします。

＝ 全県消防団長研修会開催要綱 ＝

1 目的

昨今の消防をめぐる状況は、昨年8月・9月の集中豪雨や本年6月の岩手・宮城内陸地震などの突発的な自然災害の発生、災害や事故の複雑多様化の傾向、国民保護法による新たな役割の付与など、住民の安心・安全を守るための消防が大きな変革の波の中にある。

加えて、高齢化やサラリーマン化現象などによって消防防災の中核である消防団員の減少が進み、地域の防災力の維持・強化が叫ばれている。

この時に、全県の消防団長が消防をめぐる諸問題の研究討議を行い。団員指導力などの資質の向上に努め、もって本県消防の発展に貢献することを目的とする。

2 期 日 平成20年12月2日(火) 14時～

3 会 場 秋田市 イヤタカ

4 参集範囲 全県33消防団長、全県消防長、
消防協会役員ほか

5 研修内容

(1) 講演会 財団法人 日本消防協会
理事長 秋本敏文氏

(2) 課題討議・意見交換

6 主 催 財団法人 秋田県消防協会

7 後 援 秋田県 秋田県消防長会

東北地区消防協会事務局長会議が本県で開催される

平成二十年度東北地区消防協会事務局長会議が、十月二日に仙北市たざわこ芸術村で東北各県協会の事務局長ら十四名が出席して開催された。
この会議は、東北各県が毎年持ち回りで開催しているものであり、本年は本県が当番として東北各県の消防協会から提案された議題について審議した。議題は、本年十二月一日に関連法律が施行される公益法人制度改革の各県の取り組み状況を主としての情報交換が行われ、数年後の法人への移行を目指しての現在の状況や今後の進め方等について活発な議論が交わされた。各県とも移行に当たって多くの課題があり、今後とも連携を密にすることを確認した。



トーハツ消防ポンプ
モリタ自動車ポンプ
消防被服全般
秋田県代理店

総合防災設備センター

株式会社 高義商会

(営業種目) トーハツ小型動力ポンプ
モリタ自動車ポンプ
ジェットホース
消防被服全般
火災報知器各種
消火器各種



〒012-0105 本社 湯沢市川連町字万九郎屋布32
TEL(0183)(42)2125
〒012-0844 湯沢市田町 TEL(0183)(73)2588

消防 半天・帯・団旗
優勝旗・ゼッケン
手拭・タオル・のれん
旗幕類名入染物専門

寺田染工場

横手市清川町 ☎32-0416

地域の防災、災害対策に貢献!

消 防
ポンプ自動車
小型ポンプ
ホース

設 備
火災報知器
スプリンクラー
消火器

猿田興業株式会社

秋田市山王六丁目10番9号 TEL 018 (863) 1551(代)
猿田興業ビル7F FAX 018 (824) 3651